

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



部門

「すべてはクラブ活性化のために」

各部門の目標に迫る!

委員長挨拶

国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-1-116 エイペックスタワー東館1階

TEL:048-827-0022 FAX:048-827-0011

E-mail:ri2770@ri2770.com URL:http://www.ri2770.com

ご挨拶 中川高志ガバナー(大宮RC)



BE THE INSPIRATION

皆さんこんにちは。船出をして早1か月、皆さんの航海は順調ですか。楽しいロータリーライフを過ごしていますか。

さて、8月は会員増強・新クラブ結成月間です。皆さんのクラブには大勢の新会員が入会していますか。若い会員を囲んでクラブは活性化していますか。しかし実際は、会員増強で苦労しているクラブがたくさんあるのではないのでしょうか。これは私の個人的な感想ですが、楽しくない組織には人は集まりません。それどころか人は去ってしまいます。仲間を増やしたいと思ったら、まず、自分自身がクラブライフを楽しまなければなりません。楽しいクラブを作り上げることが増強の一番の原則だと思います。魅力あるクラブを皆さん

の手で作っていきましょう。

さて今年度、地区は会員増強の支援として、入会した新会員に、ガバナーより心温まる記念品をプレゼントします。また、紹介していただいた会員には会員増強維持部門委員会より感謝と敬意の気持ちを表し、スポンサーバッチとささやかなプレゼントを用意しています。梶間順子部門委員長はじめ各委員がクラブを訪問し、直接お礼を申し上げます。また、増強について相談されたいことがあれば部門にご連絡ください。私たちはいつでも皆さんのそばに駆けつけます。今年の会員増強維持部門は燃えています。

そしてもう一つの支援として、ロータリーへの理解とクラブを超えた親睦の輪を広げるため、新会員を中心に入会3年未満の会員を対象にした新会員の集いを企画しています。第1回目は9月22日土曜日にパレスホテルでの開催を予定しています。とっておきの企画を用意しています。皆様に新たな出会いが待っています。どうぞ、ふるってご参加してください。決して失望させません。

最後にもう一つ。昨年度、女性会員を対象として女子会を開催しましたところ大変好評でした。女性会員のネットワークを広げることはクラブ活性化のために大事なことです。今年度もさらにパワーアップした女子会を企画しています。

さて、もう一度確認しましょう。今年度の会員数目標は2770名以上です。何としてもこの数値目標を達成しようではありませんか。ご協力よろしく願いいたします。数は力です。クラブ活性化の根源です。全会員一丸となって増強に邁進しましょう。

BE THE INSPIRATION

この挨拶の内容は、YouTubeの【国際ロータリー第2770地区ガバナーチャンネル】でも配信しています。ガバナー自らが語る内容を、是非ノーカットでご覧ください。チャンネルでは随時動画を配信させていただきます。

<http://urx.cloud/KrRi>



部門委員長挨拶

◆管理運営部門委員長 伊藤公仁(戸田西RC)

本年度のRIテーマは「BE THE INSPIRATION(インスピレーションになろう)」です。周りをインスパイアする(刺激を与える、活気づける)存在になろう、という事です。インスパイア(Inspire)はラテン語のSpirare(息吹き)からきた言葉で、もともと息を吹き込むという意味です。旧約聖書の創世記に、『神は土の塵から人を創り、鼻から息を吹き込み命を与えた』という記述がありますが、まさにこの行為がInspireです。つまり「インスピレーションになろう」というのは、私たち一人一人が周りの人たちに刺激を与え、活気づけ、やる気にさせる存在になろうという事であり、クラブを大いに活性化させようという事でもあります。



そのためのツールとして、国際ロータリーと地区のインターネットのホームページは極めて有用であり、価値の共有化のためにはMy Rotaryに全員が登録することが重要になります。さらにロータリー・クラブセントラルを利用することにより、クラブの変遷や過去の奉仕活動を客観的に見ることができ、ロータリー賞獲得にも必要となります。

管理運営部門はクラブを活性化するために必要な情報やツールを、皆様に提供していく所存です。よろしくご活用をお願いします。

◆公共イメージ部門委員長 江原武男(越谷RC)

「すべてはクラブ活性化のために一実りある奉仕を目指して」の地区運営方針に従い、公共イメージ部門では、効果的かつ効率的に公共イメージの向上を図っていきたいと思います。公共イメージと認知度の向上とは、ロータリーを知って頂き、良いイメージを持って頂くことであると思います。現在、日頃のロータリー活動が地域社会の目に触れる場面が少ないように見受けられます。会員増強が叫ばれる中、公共のイメージを良くしていく行動も必要な時代になってきているのです。バリー・ラシンRI会長メッセージの中に、公共イメージにもっと重点を置き、ソーシャルメディアを活用して会員基盤を築き、奉仕のスケールアップを助長してくれるパートナー組織に注目してもらう必要があると言っております。そこで、マスメディアにもロータリー活動を取り上げて頂けるよう交流を図りたいと考えます。また、地区ホームページもわかりやすく情報を盛り込み、親しみやすい愛着あるホームページにして行きたいと考えております。



公共イメージ向上委員会一同、「すべてはクラブ活性化のために」皆様のお役に立てるよう頑張っておりますので、皆様方のご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

部門委員長挨拶

◆会員増強維持部門委員長 梶間順子(浦和中RC)



クラブ活性化の一番の近道は何といっても会員増強です。増強するためにはクラブ会長とクラブの増強委員長のやる気が大切です。そしてロータリーの素晴らしさを内外にアピールし、多くの人にロータリーを理解していただくためにはクラブの公共イメージ委員長の工夫が必要です。一人では出来ないこともみんなで力を合わせれば目標は達成されると思います。

まず、自分のクラブを好きになるというところから始めましょう！好きだからこそ仲間を増やしたい！一緒に活動したい！そう思っただけなら幸いです。クラブに新しい風と活力をもたらす一人の仲間はクラブの貴重な財産です。

その財産を守り増やすために努力を惜しまずみんなで頑張りましょう！

今年度委員会はそれぞれのクラブの現状に合った増強の方法を考えお手伝いさせていただきます。委員一同一丸となり手と足と心を使って活動してまいります。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

◆職業奉仕部門委員長 杉村幹夫(八潮RC)



この度、中川ガバナーより、職業奉仕部門委員長を仰せつかる事となりました八潮RCから出向の杉村です。職業奉仕は、ロータリーの金看板とは言いますが、職業奉仕を語るのも、聴くのも非常に難しいものです。私は、毎日の実践が職業奉仕の一環だと思って居ります。まさに職業奉仕はロータリーの理念と誕生の発展を語らないと、前に進みません。

4名の会員からなる、ロータリーの最初のクラブが初例会を開催したのは、113年前、でも、地域社会のニーズにロータリークラブが力を入れる様になったのは、結成から数年経ってからの事でした。しかし言うまでも無くこの会合は、史上最も、建設的な会合となりました。ですから、職業奉仕の、理念の誕生と発展を語らなければならないのです。基本は友情を一層深めて連携して、地域社会に貢献する事が真の職業奉仕で有ると思います。

具体的な活動として、地域社会に於いて支援を必要としている分野に、積極的な活動を行い意義ある活動をして行きたいと思います。

「すべてはクラブ活性化のために一実りある奉仕を目指して」皆さんと共に、ロータリークラブの意義を職業奉仕で新たに学んで、インスピレーションになって頂きたいと思って居ります。

昨年より委員長当時、職業奉仕の理念と誕生について、14クラブにお邪魔し卓話をさせて頂きましたが、中川年度もそれ以上多くのクラブから、卓話要請が有ります様お願いし、職業奉仕をもっと解り易く多くの会員に馴染めます様更に努力して行きますので宜しくお願い致します。

部門委員長挨拶

◆社会奉仕部門委員長 柴田 覚(大宮南RC)

このたび、社会奉仕部門委員長を拝命しました柴田 覚(大宮南RC)です。1年ぶりの古巣社会奉仕部門への復帰です。社会奉仕部門は、地域社会奉仕委員会とブライダル委員会の2委員会で構成されており、私は過去にそれぞれの委員長を経験させて頂きました。今年度は、その集大成として拝命されたと認識しています。

さて、今年度中川高志ガバナーは地区運営方針に「すべてはクラブ活性化のために一実りある奉仕を目指して」を掲げられました。社会奉仕部門に課せられた7つの課題を真摯に受け止め、クラブが効果的な奉仕活動をスムーズに展開できるよう、サポートしてまいります。

地域社会奉仕委員会では、特に地区補助金を活用した奉仕活動についてのメニュー開発及び個別事例などの提供により、地区補助金申請のスピード化と充実化を推進してまいります。片やブライダル委員会においては、登録者の拡充と成婚カップルの増大を目指します。

地域社会に持続可能なよい変化を生むためにも、われわれが手を取りあって、行動してまいりましょう！「BE THE INSPIRATION」



◆国際奉仕部門委員長 西山 育昌(川口モーニングRC)

今年度、国際奉仕部門委員長を努めさせて頂きます川口モーニングロータリークラブの西山育昌と申します。宜しく願いいたします。

国際奉仕部門は、国際奉仕委員会と国際交流委員会の2つの委員会で構成されています。

国際奉仕委員会の今年度の抱負は、多くのクラブに国際奉仕事業に関心を持って頂き、チャレンジできるプログラムを作って各クラブにご案内していく事と、もう一つは、グローバル補助金を使った国際奉仕事業を、財団委員会と一緒に考えていきたいと考えております。今年度は、フィリピン3800地区との国際奉仕事業の検証ツアーを9月の下旬頃企画致しますので、是非多くのクラブの参加をお待ちしております。

国際交流委員会の今年度の抱負は、国際大会(ドイツ・ハンブルグ)に大勢のロータリアンを募ることで、中川ガバナーの希望としては、200名を目標に頑張ってくださいと委員会に要請がありましたので、それに向かって委員会一同頑張ってください。どうぞご支援・ご協力を頂き、一年間宜しくお願い申し上げます。



部門委員長挨拶

◆青少年奉仕部門委員長 井上亮(幸手中央RC)



青少年奉仕部門は、インターアクト (IA)、ローターアクト (RA)、RYLA、青少年交換 (YEC) の4委員会からなります。それぞれ独立した委員会で、当地区は、それぞれが活発に活動しています。最近、委員会合同の奉仕事業も行われました。

RYLA委員会では、来年4月の本研修が屋久島と決まりました。それに先立ち、10月12日～14日、屋久島に視察に伺います。2730地区青少年奉仕委員会との交流も図ります。

IA委員会では、8月18日川口リリアで年次大会、2月8日～13日 第3750地区から訪日団が来ます。3月23日～28日 第3750地区へ訪韓の予定です。

RA委員会では、RIから、地区内ローターアクトクラブの数、および、会員数を増やすよう指示されており、RA地区代表、委員長が前向きに検討中です。

YEC委員会では、派遣候補生15名合格の予定で、7月8日募集説明会、8月19日、26日の2日間、試験が行われます。

4委員長とは、1月から6月の準備段階から関わってきました。皆さん、とても対応が早く、熱意もあります。これから、4委員長の方針のもと、一緒に奉仕活動をしていきます。大きな問題が起こらなければいいと願っております。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

◆ロータリー財団部門委員長 水野正男(上尾西RC)



国際ロータリーのロータリー財団とよく表現されますが、国際ロータリーの目標を達成するためには、ロータリー財団がより良く機能し活発でなければなりません。中川年度の目玉の一つとして、すでに総額5万ドルの地区補助金特別枠のプロジェクトが発進しています。このプロジェクトは国内・海外を問わないものでクラブ活性化に役立てていきます。

11月29日(木)にはポリオ撲滅カウントダウンチャリティーコンサートがさいたま芸術劇場で開催されます。主催者が財団部門のポリオプラス委員会と公共イメージ部門ですが、ポリオ撲滅へのカウントダウンに向けての支援継続をお願いする事業です。このコンサートは財団学友の音楽家による演奏会で、このような催しはロータリーならではのユニークなものになります。

本年度のロータリー財団の行事については、ロータリーの特色を生かしたもの、特に他の奉仕団体では見られない、ロータリー平和センターについてより理解度を高める催しを組んでいきます。第2770地区は、国際基督教大学で学ぶ平和フェローのホストエリアとなっている事で、平和フェローとの交流にも力を入れていきます。

部門委員長挨拶

◆米山記念奨学部門委員長 吉田耕之(大宮シティRC)

2018-2019年度、中川高志ガバナーのもと、米山記念奨学部門をお任せ頂いた吉田耕之(こうじ)です。一年間よろしくお願いいたします。

米山奨学事業は地区の事業とどういうものの、やはり公益財団法人ロータリー米山記念奨学会が基となる事業であり、地区の米山記念奨学部門は、言わば奨学会の出先機関的なものであります。しかし、活動内容については地区独自で展開できます。今までの2770地区の米山記念奨学部門の活動は、各地区の中で大変高い評価を受けています。本年度も入学式、オリエンテーション、指定校説明会、奨学生による卓話訪問、新規奨学生の選考試験、修了式等々、大変忙しい委員会ではありますが、宗像英明増進委員長・小林達郎学友選考委員長をはじめとする委員会メンバー全員で、中川ガバナーの基本方針「すべてはクラブ活性化のために」のもと、米山奨学事業を通して一つでも多くのクラブの活性化に繋がるよう努力してまいります。

皆様には米山記念奨学事業への一層のご理解を賜り、ひとりでも多くの奨学生を採用できるようご協力をお願い申し上げます。



◆ロータリーの友地区代表委員 恵川一成(大宮シティRC)

「ロータリーの友」は、1952年(昭和27年)4月、第60地区の大会が開催され、同年7月に迎える新年度(1952～53)から、日本の地区は、東日本と西日本の2地区に分割される事になりました。主催者も参加者も、共に深い感慨を持った特別な地区大会が開催されましたのを期に毎月発行される事になりました。

この地区大会でいくつかの問題が話し合われました。これまで共に活動してきた日本のロータリアンが、分割されてからも密に連絡を取り合い、情報を共有するために機関誌として、企画されたのです。

第1回の準備会は大阪で、当時の星野行則ガバナー(1951～52年度第60地区最後のガバナー)と露口四郎氏(共に大阪RC)が幹事役となって、東京、横浜、京都、大阪、神戸の各クラブの代表者が出席して開催されました。

新しい雑誌について決められたのは、同年8月に、①1953年(昭和28年)1月から毎月発刊すること、②価格を50円、③広告をとって100円分の内容のある雑誌とすること、④名前を『ロータリーの友』とすることが決定されました。

「ロータリーの友」地区代表員は地区ガバナーに任命された「ロータリーの友委員会」構成委員であり、「ロータリーの友」に関するガバナーの代理者として、「ロータリーの友委員会」においてガバナーの意向を踏まえた建設的な提言を行い、毎月のレポートによる編集内容の評価や提案を任務とします。

『ロータリーの友』の購読で、RIの方針から他地区の奉仕活動や様々なロータリアンの意見など知ることが出来ますので、是非「ロータリーの友」の購読をお願いいたします。一年間皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



部門セミナー報告書

◆管理運営部門委員長 伊藤公仁(戸田西RC)



平成30年7月7日(土)さいたま市文化センター4F多目的ホールにおいて、管理運営部門のセミナーが開催され、猛暑のなか約250名のロータリアンが参加されました。

セミナーの第1部として午前中はクラブ研修リーダーセミナーを開催し、各クラブのクラブ研修リーダーや会長エレクト他が95名参加しました。

中川ガバナー・田中地区研修リーダー・大貫担当諮問委員のご挨拶の後、伊藤部門委員長よりクラブ研修リーダーについての総括的な説明をいたしました。

その後、具体的なクラブ研修の取り組み例として、半田正一様(浦和東RC)と横田松博様(浦和中RC)より、それぞれのクラブでの研修の様子を話していただきました。

歴史のあるクラブならではのRLI方式を取り入れた真面目な研修の様子や、新会員や若手会員に寄り添ったクラブ研修の取り組みが、非常にわかりやすく参考になったと思います。質疑応答の後に田中地区研修リーダーに講評をいただき、第1部を終了しました。

セミナーの第2部として午後1時より管理運営部門セミナーを開催し、各クラブの会長や管理運営部門の委員長他が150名集まりました。

中川ガバナー・田中研修リーダーのご挨拶の後、大貫担当諮問委員より基調講演をいただきました。クラブの抱えている問題を挙げ、その解決方法をていねいに説明していただきました。クラブを活性化するために大いに役に立つ内容ではないかと感じました。次に伊藤部門委員長より、本年度RIのテーマについての考察を述べさせてもらいました。

休憩をはさみ後半は、管理運営部門の細かな部分での説明や具体例の紹介です。

まず、小山クラブ活性化委員よりITおよびWEBサイトの活用法を説明いたしました。My Rotary登録やロータリークラブ・セントラルを活用することにより、様々なことが可能になることがご理解いただけたと思います。

続いて大塚節子様(松伏RC)から、ロータリー賞への取り組みについてのお話しをしていただきました。会員数の少ないクラブですが、皆が一丸になって奉仕活動に取り組む姿が、心に響く内容でした。

次に谷口顕様(川口北RC)より、My Rotary登録100%への取り組みについてのお話しをしていただきました。飾らない現実的な内容で、参考になったと思います。

部門セミナー報告書



そのあと中島クラブ活性化委員長より、クラブ活性化について説明いたしました。クラブを活性化するためのいくつかの提案を、クラブに持ち帰って役立てていただければと思います。

最後に中川RLI運営委員長より本年度のRLI開催についての説明と、森田学友管理委員長より学友情報提供のお願いをいたしました。

質疑応答のあとに、田中地区研修リーダーより講評をいただき、セミナーを終了しました。

セミナーで得た情報や他のクラブでの取り組み方を、クラブに持ち帰りアレンジしてお使いいただければ幸いです。ありがとうございました。



管理運営部門 伊藤公仁委員長のご挨拶がYoutubeの【国際ロータリー第2770地区ガバナーチャンネル】で配信されています。ぜひご覧ください。

<http://urx.cloud/KrRi>



三郷RCガバナー公式訪問報告

平成30年7月13日(金)中川ガバナー、第10グループ伊藤ガバナー補佐、遠藤地区副幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。懇談会では終始和やかに話し合われご指導いただきました。例会では二人の新入会員の入会式があり、ガバナーにバッジを付けていただき、お二人とも大変感激しておりました。その後、RIテーマ、2770地区の運営方針について卓話をしていただきました。クラブ協議会の講評ではロータリー賞にチャレンジするための達成方法を具体的にわかり易くご指導いただきました。

中川ガバナー、伊藤ガバナー補佐、長時間にわたりご指導ありがとうございました。



新会員紹介



杉森雅人(浦和南RC)

2018/7/2入会

(株)トーエンフロンティア / 自動車販売

色々勉強させていただき、仕事も奉仕活動も精力的にやっていきます。



遠藤英子(川口/鳩ヶ谷武南)

2018/7/4入会

HAPPY / 飲食業

諸先輩方の色々な経験や為になるお話を聞いて勉強していきたいと思います。
宜しくお願いいたします。



中村恭章(川口/鳩ヶ谷武南)

2018/7/4入会

社会保険労務士法人 中村事務所 / 社会保険労務士 行政書士

様々な年齢や職業の方々から学ばせていただければと思います。
よろしくお願い致します。



平井利和(川口/鳩ヶ谷武南)

2018/7/4入会

炭火串焼 ひら井 / 飲食業

右も左もわからない新人ですがご指導宜しくお願いいたします。

わたしのホットスポット

「わたしのホットスポット」は、
ロータリアンがホットしたい時、
考え事をしたい時、
リフレッシュしたい時などに使う
とっておきのスポットを
ご紹介いただくコーナーです。

◆田楽 井原實パストガバナー(さいたま新都心RC)



浦和のロイヤルパインズホテルから徒歩2-3分のところにある「焼鶏処 田楽(でんがく)」をご紹介します。カウンターが20席、テーブルが2席の清潔感が高いお店です。換気がよく、食事を済ませて店舗を出て焼き鳥の匂いが残るようなことが有りません。

店主の上甲さんは、銀座バードランドで修行をしました。バードランドはオーナーの和田さんが阿佐ヶ谷で始めました。私は約20年前に食べに行き、焼き鳥の革命のような衝撃を覚えた記憶があります。銀座の数寄屋橋次郎の隣に開店した時は、銀座の高級焼き鳥として話題になりました。焼き鳥で初めてミシュランの1つ星を獲得しています。

田楽では、栃木軍鶏を使っています。毎日新鮮な軍鶏肉が入荷しているので、焼き鳥(含む特殊部位)に加えて、鳥の刺身やレバー(生)なども楽しめます。新鮮な季節の野菜を焼いた田楽も充実していて、とてもヘルシーです。自家製のレバーパテ、鳥肉のソーセージなど美味しいメニューが揃っています。♂の親子丼はサイズをミニ、ミニミニと極小で楽しめるなど細やかな配慮がされています。私は、お任せで「野菜中心で、鳥を少々」でお願いしていることが多いです。お酒は、焼酎は扱わず、ブルゴーニュワインと日本酒(竹鶴、新亀)を中心に揃えています。この潔さも気に入っています。銘柄ワインをグラスで楽しめ、泡、白、赤を各1杯で楽しむようなことが出来ます。

仕事を終えて独りカウンターで寛ぐ時、仲間や家族で楽しむ時、カジュアルな接待など、色々な場面で利用させていただきます。皆様のご利用をお勧めします。

田楽:さいたま市浦和区仲町2-2-6 ライオンズマンション浦和仲町1F TEL:048-822-6671



国際ロータリー第2770地区



国際ロータリー第2770地区の情報をフェイスブックでも発信中です。
アカウントをお持ちの方はぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/ri2770/>





■ 「私達が何をしているのか、どんな団体なのか」

2014－15年度第2760地区ガバナーを務めさせて頂き今年度公共イメージコーディネーター補佐をさせて頂きます近藤と申します。宜しくお願い致します。

今年度のバリー・ラシン国際ロータリー会長はトロント国際大会で私達一人一人が変化の推進者になって下さい、私達が何をしているのかどんな団体なのか分からしめて下さい、また、持続可能というレンズを通して見る変革のエージェントになって欲しいと言われました。例会に出ることの大切さも言っていました。私達は5つの中核的価値観をもって3つの実践項目を各クラブ、各地区が実践したことの素晴らしさをクラブ例会・各種会合・マスメディアなど色々な場所、手段を使って広めていくことが重要だと思います。世界大会ではこんなことも言っていました。The Four-Way Test・Service Above Selfを基本とし、Cooperation・Friendship・Partnershipの3つが大切だと。これに従い責務を務めてまいりたいと思います。

ARPIC 近藤 雄亮 第2760地区 名古屋瑞穂RC

■ 「ロータリーを知っていますか？」

ロータリアンの減少傾向に歯止めをかける為に公共イメージの向上を計る事が非常に大切だというのは存知の通りです。RIが行った少し古い資料によると一般の人に「ロータリーを知っていますか？」と尋ねた所40%は「聞いた事がない」と答え「名前だけは聞いた事がある」と答えた人も40%そして「ある程度は知っている」と答えた人が20%でした。その20%の人達も実際は間違っているか勘違いをしているという結果でした。さてその調査以降本当にロータリーの事を知っている人が増えたのでしょうか？自クラブの事で恐縮ですが私達のクラブは昨年度30歳代の会員が2名入会、今年度は28歳の会員が入会しました。しかし新会員候補の人と話してみるとロータリーの事はほとんど知らないのが現状で公共イメージ向上はもっと行う必要が有るという事を再確認しました。

ARPIC 原 拓男 第2600地区 佐久RC

■ 広報を通じて多くの人にロータリーを知ってもらえれば、活動へのサポートも増え、世界にもっと大きな変化がもたらせるでしょう。しかし、一口に「広報」といっても、ロータリーの襟ピンを着用することから、大規模なマーケティングキャンペーンまで、さまざまです。

活動を計画する際は、その活動を広報する方法も検討しましょう。ポイントを押さえた効果的な広報を行えば、人々に活動を知ってもらい、必要なサポートも得やすくなるはずです。

ロータリーのストーリーをどのように伝えたら最も効果的であるかは地元新聞、地元テレビ局のニュース、フェイスブックやツイッターで情報をキャッチし、どんな情報が人びとの興味を引くのかを知ることが大切です。さらに、地元ジャーナリストを例会に招いてメディアとの協力方法について話してもらったり、奉仕活動の現場をジャーナリストに直接見てもらうのもよいでしょう。

リソース&参考資料

- ・クラブを成功に導くリーダーシップ：広報委員会編
- ・ロータリーのファクトシート（情報資料）
- ・自分にできること 今日からはじめよう（パンフレット）
- ・RI視覚的イメージのための手引き
- ・End Polio Now（ポリオ撲滅活動）のウェブサイト
- ・ロータリーのロゴ／グラフィックをダウンロード
- ・ウェビナーの登録

